

平成27年度 真庭市議会地域報告会 意見・提言取り纏め表

番号	会場名	項目	出された意見・提言等	回答
1	勝山 北房 湯原 川上 美甘 落合	マイナンバー制度について	<p>税の申告をインターネットで行っているが、この制度ではどうなるのか。カードが必要なのか。</p> <p>マイナンバーの通知が、郵便局から配達されるが、誰が受領したらいいか、家族の分も受け取れるか。</p> <p>マイナンバー制度のセキュリティーについて、岡山県内は、まだ配達出来る状況にないとの事だが、会社勤めの方は、年末調整に必要であるが、そこらを踏まえて大丈夫なのか、汚職とか、郵便の誤配とか報道されている。また、市の事務処理において、各種の書類申請時等において、それが、漏れないよう管理する職員教育等、セキュリティーは大丈夫なのか。</p> <p>マイナンバー制度が発足したら、住基ネットの個人カードは使用出来なくなるのか。</p> <p>個人カードは、住基ネットのカードと同じように作成すれば個人負担が5000円いると思うのですが、どの程度の負担が必要になるのか。</p> <p>知的障害の人たちのカードはどのような管理の仕方をすれば良いか。本人は分からないのだから、これが一番肝心なところであるのだが。</p> <p>マイナンバー制度で便利になるといろいろあるが、個人のプライバシーを心配している。絶対問題無いと言えるか。</p> <p>ほか12件同様の質問あり</p>	<p>29年度から必要となる。マイナンバーカードを申請してください。</p> <p>家族の分も同封で配達されるので、大人の方で、宛名の人、代理の人でも、(家族の方)受け取れる。留守等で受け取れなかった場合、不在票で1週間以内なら郵便局の方で受け取れる。その後は、3週間位までなら市民課、振興局の窓口で受け取れます。詳しい事は、フリーダイヤルでお問い合わせください。</p> <p>市の職員も、研修や、勉強会を行なっている。行政の安全性には万全を期す事になっている。本人の注意も必要ですが、特に、買い物の時などに、悪意を持って、見せてください、など、色々な問題が将来的には、あるかも知れませんが、国を挙げて対応する事になっております。たとえ、もし、漏れたとしても、直ちに、貯金残高の確認に繋がるようなシステムにはなっていない。</p> <p>住基カードとの重複ですが、住基カードは使えます。しかし、個人番号カードを取得したら住基カードは返納してもらわないと二重にはできない。</p> <p>個人番号カードの発行手数料は無料です。再交付の手数料ですが、通知カードを無くした場合は500円、個人カードを無くした場合は1,000円という形になっている。</p> <p>知的障害の方で自分が申請できない人で、必要な人は後見人が手続きすれば良い。そうでない人は一番親族の濃い人が代理で手続きができる。</p> <p>執行部は全然心配ないとしている。カードには写真を添付する。だから顔とナンバーが一对にならないと動かす事ができない。セキュリティー関係はクリアできるが、悪い事をする人が居るので気をつけて欲しい。行政から出向いたり電話する事は一切無い。まず心配無い。</p>

平成27年度 真庭市議会地域報告会 意見・提言取り纏め表

番号	会場名	項目	出された意見・提言等	回答
2	勝山 中和 八束	ささぶき苑について	<p>ささぶき苑が、百楽苑に来る事で、百楽苑の風呂が使用できなくなると聞いたが、どうなるのか。また、使えなくなったら、健康増進施設水夢の風呂を代わりに使うという事も、聞いているが、そのような話が進んでいるのか。</p> <p>ささぶき苑の、選定で、郁青会に落ち着いて、社協が運営していた、百楽苑で、養護老人ホームをされるんですが、これまでの、社協のお荷物になっていた部分は、解消される事になるか。</p> <p>行政の負担は無くなり、今まで、2千数百万の中から、社協の方で風呂の経費9百万位を持っていたが、今度は、郁青会さんがそれら全部を持ち、あの施設の殆どを使われるんですか。</p> <p>これについては、色々な経緯をたどり、民設・民営となり、今回、運営組織が決定した、そのことに関して、応募者数、また、施設の候補地が他にあったのか。</p> <p>百楽苑というのは、久世のどういう施設ですか、ホームの機能を持っていたんですか。</p> <p>ささぶき苑の職員のことについて、今度、郁青会言うんですか、社協に代わって引き受けるんですが、市から出向している職員、臨時職員等の処遇はどのようになるのか。</p> <p>ささぶき苑に3分の2が市からの補助で、民設民営になっていくということであるが、補助をするのであれば入所者や住民の要望も聞き入れられるのか。郁青会はどういう法人か。ベット数は45だが、それで足りるのか。</p>	<p>百楽苑の温泉施設は、赤字であり、市長は廃止を言明しておりますが、郁青会が、百楽苑を社協から譲り受け、今後、運営する事になっていますが、風呂、入浴施設は、現状のまま、残すよう、話が進んでいると聞いております。</p> <p>3月31日をもって、市からの、補助金2千5百万円は打ち切られる、その後、郁青会が全部を引き受け、運営する事になる、現在、どの部分を残すかの協議、また、土地を含めた、譲渡について、社協、郁青会との話あいが、進められており、近い内に結論が出ると思われれます。</p> <p>まだ、詳しい事は解りませんが、久世のデイサービス事業は残すようですが、どこまでを残して、どこまでを社協が手離すのか、いくらお金を貰うのか、そういう詰めの話が、今、行われているところである。養護老人ホーム整備計画で、倉敷の郁青会が引き受け、百楽苑を使用して、運営する事になり、その土地は現在社協の所有で、それを、査定して、郁青会に譲る交渉がなされている。基本的なスケジュールは、28年4月から改修工事に掛かり、29年度に完成する予定です。</p> <p>公募説明会には、8法人が参加され、最後に倉敷の郁青会に決定した。選考は、委員長の美作大学教授で、内容的に非常に素晴らしいものがあると評価されたと聞いております。</p> <p>端的に言いますと、久世の福祉の原点といえる施設であり、特に、ラジウム温泉を利用した入浴施設や、デイサービス、ゲートボール、食事、陶器など、年3万人位の利用があったと思います。</p> <p>出向していた職員は、市に戻ります。また、任期付職員は、本人の意向により、そのまま郁青会に雇用されるという事になります。</p> <p>市からの要望はできるが、実際するのは今回選定された社会福祉法人・郁青会である。要望は市からも出している。郁青会は、倉敷にある社会福祉法人で、老人福祉施設等を次々と持っているような社会福祉法人であり、このような施設を運営するノウハウは充分持っている。ベット数はこれくらいで間に合うようです。</p>

番号	会場名	項目	出された意見・提言等	回答
3	中和 北房 湯原 久世 川上 美甘 八束	バイオマス発電事業について	<p>燃料となる、木材チップの価格について、購入単価はどの位となっておりますか、木協さんと、集積基地の建設などを含めて、原価の積算をした経緯がありますので。</p> <p>バイオマス発電事業についての、出資金について、メイケンが66%、真庭市が12%の出資額ですが、これは、今回の施設建設に当たっての指導的な出資額なのか、毎年、12%の出資金を継続するのか。</p> <p>燃やした後の灰の利用方法を議会の方で何か考えているのか。</p> <p>バイオマスの中で灰が出てくる。その灰の処理はどのようにやっているのか。灰の処理にかかる金額と場所はどうなっているのか。一般の人は中々分かりにくいと思う。</p> <p>ほか12件同様の質問あり。</p>	<p>搬出したヒノキ原木を、集積基地では、トン当たり5,000円、で購入してチップ工場を経由し、含水率40～50%の場合、10,000円で取引され、差額の5,000円は、加工、運賃、事務費等です。他の原木価格は、杉以外のはトン5,000円、杉、4,500円、これは、サイズ、枝葉問わず、このように設定されています。チップの購入単価は、キロ10円という事になっています。</p> <p>出資総額は、2億5千万円であり、真庭市としてこの会社にどのように関わっていくべきか、議論し、法人の、商法で、発言権の無い出資額とし、指導的役割りという立場で関与して、直接的な経営に関わらないという方針です。今後、増資でもない限り、市の出資額は3千万円で、年々増資するものではありません。</p> <p>灰は、産業廃棄物であるため県南の水島に持って行っている。利活用することは、今真庭市で調査研究している。かなり純度の高いもので、その利活用の仕方を研究している。それを利活用することで循環が完成すると思う。</p> <p>焼却灰については年間14万8千トンの木材を燃やして2,500トン生成される。処理費がトン当たり1万5000円掛かる。年間3,750万円の処理費が掛かる見込みである。この灰は市外へ出して、市外の業者に処理を委託している。</p>
4	勝山	市道、荒田・若代線の改良工事について	<p>合併前に、市道、荒田・若代線の改良工事の要望をして、その後工事がなされたが、残る区間は、整備計画路線から外されている。全線開通のため、残る区間を、整備路線として議会からも要請して欲しい。合併当初持ち込んだ勝山の他の要望3箇所は、既に完成しており、ここだけが残っている。経済効果も見込めるので、宜しくお願い致します。</p>	<p>いつまでにとは言えないが、継続して、引き続き改良工事ができるよう努力したい。</p>
5	勝山	少子高齢化と子供のいじめ問題について	<p>少子高齢化問題は、市の将来的な不安材料であるが議会の対応策と考え方はどうか。子供のいじめ対策について、自ら命を絶つという問題を把握していると思うが、議会として対応策を考えているか。いじめが起きてからでは遅い。居場所づくりなどの対策を急ぐ必要があると思うがどうか。</p>	<p>創生総合戦略の中の人口シュミレーションに、子育て、結婚推進に積極的に取り組む表現がありますので注視しております。市のいじめに関する状況は、あまり多くないと聞いているが、早期対応が一番で、充実した対応マニュアルを作る必要がある。</p>
6	勝山	勝山庁舎の中央図書館整備について	<p>勝山庁舎が市の中央図書館に改装されるんですが、勝山の活性化に繋がると期待している。しかし、振興局の機能を勝山文化センターに移転するのはとんでもない。不特定多数の人が出入りし、空いたスペースもない。プライバシーも守れない。庁舎の隣に「もくせい」という施設もあります。文化センターに併設すればどちらの機能も失われる事になる。どの辺まで話が進んでいるのか。この施設は常にフル活動しております。合理性だけで判断してはだめです。</p>	<p>庁舎全体を活用するので、振興局を文化センターに移転し、その機能を持たせる。これから先は、執行部の方で検討されると思います。</p>

平成27年度 真庭市議会地域報告会 意見・提言取り纏め表

番号	会場名	項目	出された意見・提言等	回答
7	勝山	農業後継者育成について	農業法人の育成と後継者育成は違うが、市の若者後継者育成はどういう現状か。	農家で、それぞれの部門の技術や経営を学ぶために県の制度があります。月15万円を支給される。3年間で450万の助成など、この制度で取り組むのが早道と思う。耕作放棄地も増加しており、新規就農者が増えるよう市も毎年予算措置を講じております。
8	勝山	農業関係補助事業について	植え付けをして、その後しばらくして写真を撮って、その後は放置して、それでも補助金は出るんですか。	農業関係には、国、県などの、補助事業が沢山ありまして、どの事業についてお尋ねなのか分かりませんが、補助金申請には、必ず実績報告がいります。今は大変厳しくなっておりまして、植え付けただけで補助がある事業は無いと思います。
9	中和	総合計画について	以前、総合計画は、基本計画5年、実施計画3年という事で推進していたが、今回、実施計画は策定されているのでしょうか。今後、どういう事業が組み込まれて行くのか見えてこない。議会も、計画の策定に関わっており、ある程度の、ビジョンを、方向性を示して、冊子に乗せるとかしないと、何を、いつ、どのようにやるのかきちんと議論がなされないと、ぼやーとして、つかみづらい点がある。	ローリングしながら、5年間で事業に取り組もうということです。
10	中和	公共料金について	中和紅葉祭というイベントをやっています。その時、体育館で文化作品とか、小学校の発表会をやるんですが、ある程度の期間がかかりますが、利用料金が発生するんです。この場合、8～9万円になります。予算額に占めるウエートが高いんです。各種団体や、自治会の手づくりの農林文化祭なんですが、これには、減免措置が無いんです。できれば検討していただきたい。地域活性化や地域おこしのために、住民が一丸となり盛り上がった行事なら、無料もしくは減免制度があってもと、考えられます。	この行事には、補助金が出ておると思います。その中にこういう経費も含まれて予算の組み立てがされておりますので、確かめてください。原則的に原価方式となっておりますが、公共性のあるもの、一定の理由があるものは予算措置の中で対応する事になります。
11	中和	地域の特産品開発について	創生総合戦略のなかで、中和の地域振興という事でいろいろな具体的取り組み状況がありますが、これからさらに磨いて活性化を図りたい。	地域おこし協力隊が組織する、NPO法人、地域支援センターが発足しました。中和地域を管轄するこの女性隊員も8人のメンバーの一人なので、地域の方と意見交換しながら、連携して推進されればとおもいます。
12	中和	議会活性化特別委員会について	議会活性化特別委員会を設け、議員定数、報酬等について審議されているようですが、議員定数削減が当然というような風潮とは思いますが、皆さんも削減に走らないようお願いしたい。南の人達は、有権者が多い中で、パフォーマンスじゃないけど、積極的に削減するような方向には行かないようお願い致します。人口減少もすごいスピードで進んでいるから、止むを得ない部分もありますが、議員自ら、減らそう、減らそう、そういう動きはしないようお願い致します。	これから議会の中で十分に検討して結論を導き出して行きたい。
13	北房	まち・ひと・仕事創生総合戦略について	資料の中で、人口バランスが分からない。5年、10年と区切って目標を設定し、分かり易く教えて欲しい。	人口バランスの事は、まち・ひと・仕事の冊子の中で示しており、長期的なものを区切って示しており、見通しを立てております。振興局にも置いてありますのでご覧ください。

平成27年度 真庭市議会地域報告会 意見・提言取り纏め表

番号	会場名	項目	出された意見・提言等	回答
14	北房	まち・ひと・仕事創生総合戦略について	子ども手当について真庭市の取り組み状況を知りたい。	児童手当の対象児童は、0歳から中学終了までの15歳の誕生日後、最初の3月31日まで、日本国内に住所を有する児童、3歳未満一律15,000円、3歳から小学校終了前まで、1・2子が10,000円、3子以降15,000円中学になると一律10,000円、所得制限もあります。支給月は、6・10・2月となっており、振興局で詳しい申請手続きはお尋ねください。国の制度通り支給しており、市の単費はありません。
15	北房	まち・ひと・仕事創生総合戦略について	働いて税金を払う人より、年金を貰っている人の方が多くなると思うが将来どうなるか。	年金受給者と生産年齢人口の比率が50%を占めておりまだ大丈夫です。年金制度も変化しており、生産年齢人口の所得額の方が多いと思われる。妥当な数字と思う。
16	北房	まち・ひと・仕事創生総合戦略について	大きな事業をする場合、結論ありきの説明会でなく、市民の声を基本にして議員は伝えて欲しい、	説明会、決まった事でいいのか、この件、百人いれば、百の意見となります。ある程度の方針は示して説明しなければ、物事が決まらない。ひとつの行政手段と思う。百人でどうしましょうでは、話は決裂し、まとまらない。ある程度は決めて説明するのは必要であると思われる。
17	北房	議員のあり方について	議会の質疑について、議員は市民の代表ならば、常に市民の声を基本にして、我々の声をまとめるのが議員であって、自分の意見を通すというのは、自覚して欲しい。皆さん選挙の時、市民の声を聞きます、言うても、一度もそういう機会が無い。	選挙で、公約したり、チラシに、信条を載せたり、選挙演説したり、その結果で、投票して頂く、それが議会制度の建て前であり、議員皆さんそれを、市政に反映されていると思う。政党公認の方もおられますが、皆さん市民を意識されておられるのは当然だと思います。
18	北房	財政再建について	自主財源が20何%です、その外全部、交付金ですが、自分達の財源でやれるような方法で、財政再建をお願いしたい。	21～23%のものを改善するのは、大変難しい。全国の市町村で、自主財源が50%以上というのは、大企業を有する大都会か、特別な立地条件の所しかありません。真庭市もあらゆる方策を講じて健全財政を目指しています。
19	北房	年少人口フレームについて	人口減少と、高齢化、将来の高齢化率は、年少人口は、この人口フレームで正しいのか説明願う。	これは、あくまで、目標値でありまして、国のある機関では、真庭市の人口を2万8千とする推定値もあります。何も手段を講じなかつたら、そういう事になるかもしれませんが、子育て、特殊出生率を見込んだり、転出者の減少や、転入者の増などの施策で目標を設定したものを載せています。
20	北房	運動公園の整備について	北房のBG運動公園は非常に水捌けが悪い。整備して有効に活用したい。この事については文書で回答できませんか。また、高校野球の練習試合後のグラウンド整備が不十分である。使用料金多く貰ってはどうか、	管理規定があるが、もし問題があるようなら、善処する方法を検討しなければならない。料金は条例や規程どおり徴収している。
21	北房	学校・幼稚園の廃校の活用について	小学校4校と、保育園4園が統廃合により空き地になる。地元住民の意見は聞いて貰えるが、企業誘致などの話はありますか。	今後、市内には同じような事案が多数出てくる。企業誘致は、有意義な方策だが、今の社会情勢では中々難しいと思われる。地元で有効に活用できるよう検討して頂きたい。
22	北房	軽車両の税金徴収について	トラクター等の農業機械のプレート、徴収が難しいと聞くが、税の公平性を保つためにも、毅然と徴収して頂きたい。	税を、公平に徴収する事は当然である。今、この件、どのように課税、徴収しているか調査して、方針を回答したい。

平成27年度 真庭市議会地域報告会 意見・提言取り纏め表

番号	会場名	項目	出された意見・提言等	回答
23	北房	交通アクセスについて	湯原温泉で、同窓会を行った。東京や関西方面から出席した人が、非常にアクセスが悪いと声をそろえて言われたが何か方策はないか。	現在、米子自動車道を、高速バスが一日50～60台運行しており、湯原の二川のバス停に停車するよう、陳情しております。
24	北房	南の玄関口について	南の玄関口として、何か活気のある振興策はないか。知恵を借りたい。	地域創生事業のなかで、皆部商店街の活性化、ホテルの里、古墳群など、工夫し、地域にあるものを掘り起こして磨けば素晴らしいものがあると思います。議会も側面から支援いたします。
25	湯原	湯原振興局について	今湯原地域で一番大切な地方創生事業として考えなくてはいけないことは、湯原振興局のことである。今年度3月まで期間もありますので、3月中に調査ができないのであれば28年度の上期にでも実施して調査を終了して補正対応でも予算をつけて前向きに進めていただきたい。	湯原地域としては、振興局の整備については優先順位が上位の課題であると思う。
26	湯原	地方創生戦略について	庁舎を新しく建てることはやめてほしい。無駄なお金を使うことは、今の湯原を考えるとそういう状況ではない。新築で必要になるお金は、湯原地域の創生のために使っていただきたい。地方創生は我々地域の問題である。	地域創生戦略は、総合計画に基づいて作っている。議会でも指摘しているが、地域主体となる計画にすべきだという中で、市民創生会議を立ち上げた。今後5年間で、地域が作り上げていくものでこれで完成したものではないということをよく考えていただきたい。地域が、どれだけ計画性を持って具体的に実施していくかが重要です。
27	湯原	湯原振興局について	地域の拠点施設無くして湯原の地域創生はないと思っている。18年に桃李荘が終わり、19年に危険建物ということで急遽予算をつけて取り壊した。振興局は、築65年が経過しているのに危険建物ではないのか。	桃李荘の場合は鉄骨コンクリート造り、振興局は木造ということで耐震の関係が違うという判断をし、早急に取り壊すべきものとそうでないものに判断が分かれた。振興局は行政を司る中心地であるので、地域で十分議論をしていただきたい。
28	湯原	市道の整備について	小川～牧線は、生活道でありそこに生活している方もいる。現状は、木が出たりして悲惨な状態で、人が住んでいる状態の道ではない。国とか県とかといった関係各所に働きかけて護岸の管理道を上流に延ばしていただきたい。	ご要望ということでお聞きしました。
29	湯原	鳥獣被害について	中山間地域では、サル・イノシシ・シカの被害が大変多くなっている。対策費について出し惜しみではいけないと思う。猟友会の方等としっかり協議し、対策の事業展開をお願いする。	県は、今年度からサルの生息数の生態調査を始めるということです。市では、副市長をトップに農協、森林組合などで対策本部を設置し有害鳥獣被害に対応していく体制を整えた。捕獲については、猟友会の方をお願いするしかない。
30	湯原	湯原の観光について	湯原温泉を、観光を含めて温泉を利用して自然と温泉を活用した地域づくりになるのか考えてほしい。真庭市は観光を軸にするのであれば湯原の活性化は不可欠だと思う。	湯原を活性化させることは、多くの観光客が訪れている蒜山との連携を考えていくことが大きな課題であると思う。温泉をどう生かして観光に結びつけるかあるいは地域振興に結びつけるかをみんなで考えることが重要だと思う。
31	久世	エタノール・ペレットについて	エタノール・ペレットについて、市は何も結論を出していない。明確にしてください。	木質エタノールとしてやったが、商品化するには相当なコストダウンが必要ということで商品化は無理だという結論に至った。この意見を行政に伝えて、きちんと報告できるような体制を議会から求めていく。

平成27年度 真庭市議会地域報告会 意見・提言取り纏め表

番号	会場名	項目	出された意見・提言等	回答
32	久世	エタノール・ペレットについて	採算が合うか合わないかを含めて報告するべきだと思う。	エタノールの事業化については、なかなか厳しいし、どこまで実証実験をしたか分かりませんが、報告書は出されています。ペレットは、普及率を上げていくという長いスパンで、結果がすぐ出ですぐに収入に、ということには結びついていない。議会もチェックしながらやっていく。
33	久世	中央図書館の整備について	中央図書館を整備するといった発想ではなく、各地域にある図書館を充実させることが重要であり、中央図書館は無用の長物になる。	中央図書館ですが、地域の図書館も充実を図りながら中央図書館の整備を行う。勝山庁舎の後に蔵書するのにスペースがあるので利用したらどうかということになった。他の施設の再利用や新築も含めていろいろと検討した。公共交通機関からも遠くないことも利便性があると思う。
34	久世	税の滞納について	合併した当時、滞納金はいくらあったのか。	合併当時ははっきりと覚えていないが13億円ぐらいあったのではないかと。合併当初は、滞納整理ができていなくて議会できつく言いだしてから滞納整理を中心主義・差し押さえ主義に変わり、滞納金の減額に至っている。
35	久世	税の滞納について	合併時に滞納金は、10年が経過したら追求しない打ち切りますという議会決議がされたと聞きましたが本当ですか。	10年が経過したら追求しないという議会決議をした記憶は無いです。
36	久世	財政について	経費の削減を本当に考えていかないといけないと思うが議会の中で議論はあるのか。	公共施設のあり方、人件費のあり方を考えていくことは重要だと思う。財政については議会の中でも真剣に議論されている。財政とか云々とか相対的に考えて、物事を進めていかないといけない。
37	久世	情報化について	情報化について、コストをどう下げられるかを検討していただきたい。	情報化については、第3次情報化計画が策定されることで、今後に向けて市民に実のあるものにするか煮詰めている状況です。パブリックコメントを含めて皆さま方の意見をお寄せいただければありがたいです。
38	久世	地域振興について	地域振興について、周辺地域の振興をどうするのかといったことが20年先には非常に大きな問題になると思う。それを見据えて創生戦略を考えるべきである。議会に、急速な人口減等を踏まえて危機感が無いと思う。	振興局がするのではなく振興局を核に地域の力を結集しながら地域振興を図っていく戦略なので、各振興局ごとの振興が真庭市の発展に大きく影響すると思う。
39	久世	人口減について	普通に考えると、人口が減ることは自分の取り分が増えるということで、逆の発想ということで人口が減っても逆の発想を持って対応することも重要で、将来悲観的に考えるより発想を変えることも重要だと思います。	人口減の中で地域をどう支えていくか守っていくかといった厳しい課題がある。命題が国の問題になっているので今後もいろいろな中で勉強していきます。
40	久世	地域報告会について	地域報告会の地域対象を、各部落単位であったり連合単位で行うことも検討し、女性だけに集まっていたら意見聞くことも考えていただきたい。	若い方や女性がどうしたら来てくれるのかといったことは、検討をしているがなかなか決定打が無いのが現状です。今日のご意見を議会として検討し、知恵を出し合って来年の報告会に生かしたい。議会も大きな課題と捉え、参加しやすい時間帯も検討していきたいと思う。
41	久世	クリーンセンターについて	クリーンセンターの残灰を、お金をかけて他所に持って行っているということはありませんか。	最終処分場は、久世の場合は木谷で行っていて、今後10年ぐらいは対応可能と聞いている。もう一つは、吉に美咲町と一緒に落合町（合併前）がやっていたところがあるが美咲町は津山市に持って行くことになり使用はしていない。新しい処分場を模索している段階です。

平成27年度 真庭市議会地域報告会 意見・提言取り纏め表

番号	会場名	項目	出された意見・提言等	回答
42	川上	教育問題について	議会は、先生が忙しくされているのをどう思うか。先生の忙しさを軽減する方向でどうするのか。また、どんな認識を持っているのか。	教員の方からも学校側の方からも忙しくされているというようなことは聞いていない。先生が忙しくされていて、子どもたちに向き合う時間が少なくなっていて仕事に追われている。家庭教育の大切さを伝えていきたい。
43	川上	地方創生事業について	蒜山農業体験も良いが、いろいろな体験をするような仕掛けを考えていただきたい。蒜山は空き家があっても仏さんを祀らないといけないので人に貸さない。もっと空き家情報が分かるような仕組みとか廃屋処理の方針を出してほしい。	空き家の改修には補助金を出している。中和にはお試し住宅があり地域外から来る方を積極的に受け入れ、インターンシップしたり泊まっていたらいい。
44	川上	人口減少について	どういうことが原因で人口が減っているのか、どういう原因で若い人たちが流出しているのか、議会と行政でどのような議論がされているのか。	一番大きいのは生産人口と年少人口が減少しているということです。高齢者は横ばいの状況です。若い女性が、20歳から29歳までの方が都会に出られ帰ってこないことが一番の原因となっている。人口の増加について、アイデアをいただき議論することも重要です。総合戦略は、安定雇用、新たな人の流れの創出、若い世代の結婚や出産、子育て支援という大きなテーマで安全安心な地域づくり、広域連携の5項目を施策の方向性として明示している。
45	川上	地方創生事業について	真庭市は、地域の特色がはっきりしていると思う。地域の伝統をしっかりと認識した上で方針を出してもらいたい。	総合戦略は、地域資源を生かして頑張ろうというのが軸です。今先行事業を行っていますが、それぞれの地域の資源を生かしたものだとは認識しています。
46	川上	安保法案について	9月議会で安保法案について、法案の審議中だったので安保法案について慎重に審議するように発議がなされたが否決されました。日本国憲法というものをしっかり守っていただき、行政に携わっていただきたいと思います。	要望としてお聞きしました。
47	川上	補助金について	敬老会があったが、お弁当が出ないというので参加者が2、30人減った。市長は事あるごとに、カットカットと言われている。それが、本当に地域の生きる力になるのか、みんなの元気をなくしているのではと思います。	要望としてお聞きしました。
48	美甘	まち・ひと・しごと総合戦略（地域振興）について	もう少し真庭の中でも過疎の方になる地域でも頑張れるような、そういうふうな良い方法が無いかなと思う。総合計画とか総合戦略は素晴らしいのができていると思うけど、ちょっと違和感がある。「なかなかそうは行かないよねえ」というような気持ちがする。	総合戦略というのは、それぞれの地域にある資源をどういうふうを活用するかということがテーマになる。地域の中でお互いが地域を見渡す中で、何か産業に作れる物があればという形で、少しずつでも今回の事業の中で取り組めれば良いのではないかなと思う。
49	美甘	まち・ひと・しごと総合戦略（地域振興）について	若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえるという所に、夫婦子ども数予定実績指標の向上と書いてあるが、これはどういう意味か。	合計特殊出生率の話も含めてであるが、真庭の場合は県下では非常に高く1.54くらいであるが、それを1.8にできないかという目標である。
50	美甘	まち・ひと・しごと総合戦略（地域振興）について	男性の方のイクメン制度というものを作ってはどうか。	今本当に必要なことであると思う。会社勤務の環境の中で休めて、お互いにフォローしていく事は本当に大事なことである。真庭市の中でも未だできていないが、そういう事もできるように議会の方から提案をしていきたい。

番号	会場名	項目	出された意見・提言等	回答
51	美甘	まち・ひと・しごと総合戦略（地域振興）について	企業誘致というのは中々難しいと思うが、美甘の方にも行政も議会も力を入れて、そういう方向性も一つは考える必要があるのでは無いか。	現状でこの美甘地区に企業を持ってくるというのは非常に厳しいと思う。この素晴らしい環境を活かす事業というものを地元の方から立ち上げて欲しい。今、市内各地で立ち上がっているのはコミュニティビジネスである。非常に小さなビジネスで、立ち上ったのはほとんど地域の方である。大きな商売にはならないかもしれないが、地域の方で小さな商売を興して、地域の中で経済を回していくのだという発想が大事であると思う。
52	美甘	まち・ひと・しごと総合戦略（地域振興）について	役場（振興局）の職員を3倍くらい増やしてはどうか。向こうで無ければ仕事ができないのでは無くて、こっちに来て仕事ができる部署はあると思うがどうか。	絶対の定数を増やすというのはなかなか難しい話なので、本庁に居る職員をここに3倍配分しろというのだと思うが、業務の中身とか色々な事の中で、なかなかそう簡単にはいかない。
53	美甘	まにわ君について	まにわ君の件で、環状線にして湯原回りから、美甘回りからぐるっと回ってというような環状線の配置をしたらどうか。	あくまでも真庭市のコミュニティバスなので、基本的に真庭市の行政エリアの中を運行している。新庄村から、まにわ君が市と村の境から新庄村内を走るために掛かる費用を全額負担するから環状線運行をしてくれないかという協議を持ちかけられれば、議会は協議するように執行部に対して意見を述べる。
54	落合	総合計画について	総合計画で25年後の人口を34,000人に歯止めをかけると言うが、その根拠が欲しい。安心して暮らせるのであれば10,000人でも良い。願望だけ唱えて何になる。人口が少なければ少ないなりにすれば良い。若い者が今の状態では増えない。	人口動態で推計すると29,000人くらいになると予測されるが、いろいろ施策を展開して目標を34,000人に留めたい。10,000人になると地域の存立が危うくなってくる。経済活動を営む上で一定の人口は必要。北海道夕張市のようにならない為にも最低限の人口規模は必要。市民と一緒に雇用確保など88の事業をやっていく。
55	落合	総合計画について	創生事業の88事業の中身が分からない。何を議論するのか分からない。実施計画も具体的な話もないのだろう、いつできるのか。	市民の意見を聞きながら各振興局単位でまとめた。その結果として地域に産業が生まれる。5年間続ける事により人口確保の一助になる。総合戦略でまとめた事業は100%実施する。
56	落合	総合計画について	しめ山開発を真庭高校の生徒が取り組んでいるので後押しする。しめ山のイベントをしているが議員は1人も参加しない。	ありがたい話だ。総合戦略の中にあるので全力で取り組む。参加する。
57	落合	総合計画について	栗原地区の総合事業も真庭初で真庭で1か所ということで研究している。地域にとって一番ベストな方法を考える場を作って欲しい。最終的には経済の問題となり、すでに出費の状況だ。初期投資の援助をして貰いたい。	自分は何ができるかが基本。地域のために何ができるかを考えて頑張りたい。総合戦略の中のソフト事業は取り組み易い。ハード事業は原則ダメ。NPOとかの組織にして真庭モデルを栗原で作って欲しい。全てがボランティアでは成り立たず、行政と地域と一緒に進めていく事が大切。
58	落合	総合計画について	預貯金が220億円あると言うが、550億円の借金をどう無くしていくのか。自己財源が63億円あるが、62億円が人件費で一般的に考えて疑問だ。どう見ても赤字財政で破綻状態だ。財政力指数が0.31%岡山県内27の内17番目で立派な数字だ。	臨時財政対策債は138億円、これは独立採算で行う病院とか企業会計とか全部集めた数字。350億円は普通会計の予算税金を充当して償還していく財源。人件費は真庭市に入ってくる税収で給料を払っている訳ではない。財政力指数が1以上の所は地方交付税が交付されなく、全国に50自治体ある。その他は全て1以下で地方交付税が交付される財政力指数が低いから全てダメでは無いと理解すべき。地方交付税は国に頭を下げて貰っているお金では無い。

平成27年度 真庭市議会地域報告会 意見・提言取り纏め表

番号	会場名	項目	出された意見・提言等	回答
59	落合	総合計画について	依存財源が77%とか言うが、経常収支比率等を県、県北で見るとどうにもならない数字ではない。市長は厳しい事ばかり言っているが、今の時をどう生きるかが大切で、金が無いからなんとかではない。	真庭市の財政は危機的状態ではない。10年20年先は厳しいが、合併特例が終了して5年間で40億円の交付税が減ると言っていたが、2/3は戻す事になった。見通しは楽ではないが、財政が1年2年で行き詰まる事は無い。
60	落合	職員の人件費について	職員数が1,200人、面積は広いが近隣の市町村に比べて多過ぎる。職員給料のラスパイレース指数は国に近く県内トップクラスだ。職員給料が高すぎる。自己財源の70~75%で良い、62億円を減らすべきだ。職員のマネジメント等行政改革をやって欲しい。	その話は持って帰る。
61	落合	議員について	1,200人の職員の事を言うのなら議員を増やしても良い。若い議員を育てられないなら実費でやったらどうか。全く動いてない議員は賞与を貰わんでほしい。役所と同じように出勤して働く、特に山間部へ足を運び話を聞くこと。24人を30人にしろ！と市民に呼びかけると良い。年金を貰う年齢で議員になるのではなく、若い人が会社を辞めて議員になろうという空気を作ろう。これが町おこしになる。16人でできるなら16人にして給料を上げると良い。	議員の給料・定数を含め、どうやったら若い人が選挙に出るか議論しているので、意見を持ち帰り特別委員会に反映させたい。
62	落合	指名委員会について	指名委員会の内部規定で内容を外に漏らしてはならないと言う。疑問をぶつけても答えない。平等を重視する所で非公開はおかしい。平等に行われているかどうか分からない。税金を使ってやる事ではない。指名自体法律違反だ。指名だけでなく真庭市は非公開のものがある。岡山県と同等と言っても県とは違う事をする。議会が追求しても執行部が非公開と言えば終わり、議会は何をするのか。真庭市は非公開で逃げすぎている。回答文書も消されている箇所がある。議員も困っているのではないか。至道高校跡地の測量委託で中身がおかしいとの意見を無視し入札を開催したが、内容が違い中止となった。こういう話がいっぱいある。持ち帰って話をするとと言うが、いつまでにするのか。真摯でなく「改善してください」と何度も言っている。指名に関しては議会は必要ないということか。入札に関しては玄関がピシャッと閉まっている。	権限は執行部が持っている。委員会で検討し執行部と掛け合う。議会が一度も立ち入った事は無い。意見は持ち帰って検討する。至道高校の事は聞いていない。入札に関して議会は介入できないが、真摯に受け止め対応する。たぐさん委員会があるが、指名委員会だけは全く別の委員会、ここは政治家の介入を排除する目的で市長も入れない。副市長がトップ。過去の実績、事業の完成度、責任問題などクリアして指名競争入札を行なう。
63	落合	議会地域報告会について	老人ホーム、バイオマス発電の事はよく分かった。報告会の人数が減ってきている。議員も市民も反省すべき。一生懸命やっているが魅力が無い。報告会が尻すぼみで気の毒、効果が無い。町おこしに無駄が一番ダメ。地域報告会でなく、行政の出前をすとか地域の希望を聞く会にしたら良い。そうするともっと人が集まる。	今年は報告を少なくして、フリートークの意見交換を多く取り入れようとした。
64	落合	落合総合センターについて	新しい総合センターができるが、公共施設の料金がまだ決まっていない。使用料を取るのか。文化協会は無料だったが減免措置はあるのか。落合総合センターができるので文化活動をやらねばならない。応援頼む。郷土を愛する生徒、郷土の文化を愛する教育が必要。	12月定例会ではっきりした金額条例等々出てくる。料金は徴収する。減免措置は廃止になる。公民館活動は無料になると思う。12月議会ではっきりする。

平成27年度 真庭市議会地域報告会 意見・提言取り纏め表

番号	会場名	項目	出された意見・提言等	回答
65	落合	観光・PR活動について	星山の一等三角点の木を切ってほしい。そうすると大山が見えるので観光客が増える。湯原の露天風呂からダムえん堤が見えるよう木をを切ってほしい。蒜山高原マラソン、湯原トライアスロン等もっとPRすべき。参加者が増え、街に人が流れる工夫をすること。いろいろなイベントがある事自体真庭市民に伝わってない。	星山の件は観光課に申し入れており、努力する。ダムえん堤が見える所の木の伐採は不可能と思う。岩が落ちてくる。ご指摘は伺う。各振興局単独でイベントをしており、横の連携が取れてない。充分お知らせができるよう担当課と協議する。
66	落合	議会だよりについて	議会だよりを読んで気になる事がある。安保法案での草地議員の発言で、国がやろうとしている事に、地方は口を出すな！とはどういう事か？同法案の中止を求める意見書の提出が賛成6人、反対20人は、一般国民との差がありすぎる。答弁は知らない。市長の発言、岡崎議員の発言には議論を活発にすべきとあり、当たり前の話である。	議会だよりは文字数に制限がある事を理解して欲しい。全文は議事録があり閲覧できるし、ホームページで公開している。
67	落合	町おこしについて	県北でいうと賃金が一番安い所で、若い人がどうやって生活してどうやって人口を増やすのか。若い人が来て生活し易い所に援助金をつけることを考えているが、出てくる幅があると思う。耕作放棄地税金1.8倍以上にする、企業にやって貰う？楽しめる所は無い。バイオマスをやっているが、京都で山で採った葉っぱを料理に付ける事が成功している。自主防災組織づくり、創生事業は執行部と議会と住民が一緒になって、知恵を出さないと成功しない。将来の真庭高校の存在を心配している。	このお茶（とみはら茶）も富原地域で何人か雇用が生まれている。湯原の社では8つの高いお宮を地域の宝として観光資源にしようとしている。富原のお茶は若い人が中心になり、頑張ろうと組織を作った。買い物難民とかいろいろ問題がある人を病院に送る、迎えに行く等々やっているし、お米を高く買って貰う方式を考えたりしている。草刈りも安くできるように対応している。地域の中で支え合いの仕組みを作って欲しい。
68	八束	まち・ひと・しごと総合戦略（地域振興）について	河川の浚渫と川上地区の水害について	困っているということで振興局に掛け合い、本庁に上げるという形になる。河川がいま蒜山だけでなく全体的に土砂が溜まって河床が高くなり、少し雨が降るとすぐ氾濫する状況になっている。県に河川の浚渫についてはこれでもかというくらい言っている。 水害については、県管理だったため初動が非常に遅く、地域の皆さんに迷惑をかけた。蒜山振興局としても、できる範囲のことはしたと思うが管轄が違ったことで手を出せなかった部分もあった。私どもの不手際というか、動きが悪かったら県の動きも悪かったという部分もあったので改善していきたい。
69	八束	まち・ひと・しごと総合戦略（地域振興）について	雇用を5年間で200名、転入者を5年で100名増とあるが、目標というか何か手引きみたいなものがあるのか。	一つ一つの事業をやることによって、数字的に全部の事業に目標数値を挙げている。それをトータルした形で、総枠目標200人の雇用を増やしたい。
70	八束	まち・ひと・しごと総合戦略（地域振興）について	東京一極集中という形になっている。真庭市においても落合・久世・勝山地区という面が多い。蒜山地区はどんどん人口が減ってきており、農業自体もどんどん潰れてきている状況だが、その辺はどう考えられているか。	周辺部はほとんどが農業関係など一次産業に関わっている部分が多いが、逆にそれを題材にした観光資源、観光地だ。一次産業を健全化させ、豊かな自然とか環境、風景が観光客を呼び込むという循環を作っていくことにより、できるだけ地域の一極集中を配慮することができればいいのではないかと。

平成27年度 真庭市議会地域報告会 意見・提言取り纏め表

番号	会場名	項目	出された意見・提言等	回答
71	八束	まち・ひと・しごと総合戦略（地域振興）について	今はだんだんと農業ができなくなり田んぼも荒れて観光地といえども風景も汚くなり、魅力がどんどん薄れてくる。住んでいる人がここでは暮らせないとやっている所には、他所から人は来ない。お年寄りが野菜を畑や田んぼで一生懸命に生き甲斐を感じてやりながら、しかし足が無いため出荷ができないというようところをサポートする仕組みとか、日常の生活が生き生きできるような視点で考えていく必要がある。	この地区でも、私はこういうことができるが何か役立つことはないかと提案していただいたことが、何かのきっかけでできるようになるのではないかと。そのことが雇用、仕事につなげてくれるようになると思うので、ほんの小さな事でも皆さんが提案しながら頑張っていたきたい。
72	八束	まち・ひと・しごと総合戦略（地域振興）について	スクールバスの停留所設置について	子どものことを考えれば良いとは思いますが、どこに作るか地域の方のご協力もいただかなければならないし、こういう提案があったということもこれからの課題として担当課にお願いもしていく。
73	八束	まち・ひと・しごと総合戦略（地域振興）について	防犯灯の設置について	今後どうするかということは全体的に考えなくてはならない。通学路については、PTAを通じて協議をし、学校から教育委員会にいて、教育委員会が防犯灯を付けたという事実はない。
74	八束	まち・ひと・しごと総合戦略（地域振興）について	外から真庭に入ってくる人に対しては色々な援助はあるが、地元を愛して一生懸命アルバイトをしながら頑張っている若者たちがいっぱいいる。その子たちには何の援助もない。	新卒だけをケア・補助するという制度を作るのは非常に難しい。そういう意見があったことは分かるし、厳しい条件である事は十分分かっているのだから、何かできないかという気持ちは同じように思うが、こうしようというところまでは言い切れないのが現状。
75	八束	まち・ひと・しごと総合戦略（地域振興）について	北部火葬場は建設中であるが、使用開始が半年以上も延びた。業者に対して物価が上がったから補正予算を組んで、冬場の仕事で事業が遅れているとかで延びているが、業者選定の時点で蒜山は雪が降るということでノウハウを持った業者を真剣に考え、建物のプロを選んでいただければ金もかからないし、補正予算を組まなくても良かったのではないかと。議会も業者を選ぶに当たって指導してほしい。	市の発注前に、ボーリングで2ヶ所調査した。実際に工事にかかった時に、その2ヶ所では把握できなかった軟弱地盤があった。それを補強する手立てで工期がかなり遅れた。どういう工法ですかの設計協議にかなりの時間がかかり大変遅れた。遅れた部分で冬までにしなければいけなかったことができなかった。物価スライドの件は、国からの通達により行ったもので、全国平均または岡山県で物価がどのくらい上がったかを調査し、その調査の中で人件費とか材料費が契約した時よりも上がっていたということだ。工期が延期したからというのではなく、物価が上がったからすべき措置であって、正当な理由によって補正予算した工事であったと認識している。業者選定は指名委員会の中でどの会社がノウハウを持っているかということも充分検討したと思う。議会がこれは良かったとか悪かったとかは言えない。
76	八束	まち・ひと・しごと総合戦略（地域振興）について	高齢者の免許証返納を促すための特典は	高齢者が免許を返納していただいた場合には「まにわくん」の回数券がある。真庭だけでなく、県内でタクシーに乗ったときに何割か引くところがある。商店でも契約しているところで買われたら値引きがある。